

研究機関：広島大学

研究課題名	広島県の透析患者における新型コロナウイルス感染症治療に関する多施設共同観察研究		
研究責任者名	広島大学病院 腎臓内科 教授 正木 崇生		
研究期間	2021年10月4日(倫理委員会承認後)～2026年3月		
対象者	2020年1月から2025年3月の間に、広島県内で血液透析治療を受け、新型コロナウイルス感染症の診断・治療を受けられた患者。		
意義・目的	血液透析患者は新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）が重症化しやすいことが報告されていますが、まだ十分な疫学データは得られておらず、治療方法が確立されていません。今回、広島県の血液透析患者におけるCOVID-19の診療状況及び転機に関して情報収集・データベースの作成を行い、重症化する方の特徴や経過、薬剤投与のタイミングや経過など、COVID-19診療に関する知見を集積するために本研究を計画しました。		
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、性別、血液検査（血液一般検査、血液生化学検査）、既往歴、原疾患、透析歴、透析条件、血圧、内服薬、COVID-19に関する情報（発症日、入院日、感染経路、症状、酸素飽和度、酸素投与の有無、肺炎所見、使用薬剤、転帰）などです。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）		
共同研究機関	県立広島病院、呉共済病院、呉医療センター、土谷総合病院、原田病院、東広島医療センター、市立三次中央病院、JR広島病院 広島大学病院に情報を集め広島大学病院（研究責任者 正木崇生）が解析します。		
試料・情報の管理責任者	広島大学病院腎臓病地域医療学 教授 土井 俊樹		
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。		
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-1506		
広島大学病院腎臓内科	教授	正木 崇生（研究責任者）	
広島大学病院腎臓病地域医療学	教授	土井 俊樹（研究担当者）	
広島大学病院腎臓病地域医療学	助教	森井 健一（研究担当者）	